

23 地域の教育力の活用

第3期プラン 2-(5)-イ

学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で子どもたちを見守り、育てる取組を推進するため、地域とともにある学校づくりを進め、家庭や地域との信頼関係を確立するとともに、関心をもって地域課題等の理解に努め、地域への愛着や誇りを育む教育に積極的に取り組む。

令和4年度
重点実践事項

● 学校・家庭・地域が連携・協働した「地域とともにある学校」づくりの推進

2

子どもたちの学びを支える環境の充実

実践目標

1

「地域とともにある学校」づくりを推進する

①教育活動の公開

全

オープンスクールやオープン・ハイスクールを通して、保護者や地域の人々等に教育活動を公開し、各学校園の魅力・特色等に関する情報を発信する。

②学校園運営に関する情報発信

全

学校園だよりの発行やホームページの更新、地域のケーブルテレビや広報誌の活用等により、家庭・地域との連携を一層推進するための学校園運営に関する新しい情報を日常的かつ積極的に発信する。

重点! ③学校の教育資源の提供

全

地域の人々への学校施設の開放や高等学校地域オープン講座の開設、高校生のふるさと貢献・活性化活動の充実等、地域との関係づくりに努める。また、放課後児童クラブの開設に際しては、市町福祉部局とも連携を図り、余裕教室等を提供するなどの取組を進める。

重点! ④地域住民の参画の推進

全社



めざすべき子ども像や教育のビジョンを保護者や地域と共有し、学校と地域の連携・協働により、地域全体で子どもたちの成長を支えていく活動(地域学校協働活動)を推進する。

⑤地域住民との交流促進

全社

「地域とともにある学校」づくりの組織的な取組を推進し、地域住民によるボランティア活動を受け入れたり、地域住民と幼児児童生徒との交流を促進したりするなど、地域の教育力を活用し、学校園の教育環境を充実する。

地域と学校の連携・協働スキルアッププログラム

幅広い地域住民等の参画による、地域と学校が連携・協働して子どもたちの学びや成長を支える活動(地域学校協働活動)の深化・充実を図るため、先進的な取組を取り入れながら、地域課題の解決に向けた新たな取組を実践している。

地域住民や保護者による、休み時間の九九学習の支援(伊丹市立笹原小学校・摂陽小学校)

伊丹市立笹原小学校と摂陽小学校では、教員からの「九九指導の手伝いをして欲しい。」という声をきっかけに、各校の学校運営協議会は「九九学習の支援」を行っている。地域住民や保護者が、学校支援ボランティアとして、休み時間に教室前の廊下等で、児童一人一人の暗唱を聞き取り、励ましの声をかけている。

学校支援ボランティアの協力で、算数の要である九九を丁寧に指導することができ、学習意欲の向上に繋がっていると同時に、子どもたちが地域の方と関わり、応援されることで、「礼儀正しさ」や、「最後までやりとげる気持ち」「家庭での練習への意欲」「やればできる自信」を持つことにもつながっている。



学校支援ボランティアによる廊下での九九の聞き取り